



広い心

学校便り 3号
令和8年 5月8日
宮古島市立狩俣小学校
発行者：校長 喜屋武 真史

春の遠足(1年生を迎える会)



5月1日は春の遠足の日でした。当初の計画では、サニツ浜ふれあい公園に行く予定でしたが、天候の心配があったため、目的地を雨天時でも活動が可能な「伊良部島児童館」へ変更し実施しました。雨は降ってはいませんでした。4月にオープンしたばかりの綺麗な施設内で、思い思いの遊びに興じる子供たち。アクティブな子は、バドミントンやバスケットボール、フリスビーなど思いっきり体を動かし、インドア派(?)の子は、室内にある色々な備え付けの道具を使って遊び、それぞれが友達と楽しく過ごしていました。

遠足の後半は、「1年生を迎える会」も開かれました。みんなで話し合って決めた全体レクでは、1年生のそらさんが楽しめるように「早歩きで追いかける」というルールにしたり、ドッジボールでも「とったボールを仲間に譲る」という姿が多く見られたりと、子供たちの優しさを感じる温かい会でした。また、各学年から、「手作りのプレゼント」がそらさんに渡されると、そらさんは、「とっても楽しかった！これからも頑張るぞ～」と笑顔で嬉しそうにしていました。狩俣小児童の笑顔とやさしさがあふれる、楽しい一日となりました。



わくわくタイムに楽しく運動



5月7日、朝の時間に今年度1回目のわくわくタイムがありました。毎週木曜日の 8:15 から「朝の合同体育」として実施していきます。体育主任の満広先生がみんなで楽しめるように工夫した「鬼ごっこのような遊び」でしたが、チームワークが必要な遊びで、子供たちはケタケタ笑いながら楽しく運動できました。活動後には子供たちから、「次は〇〇のルールにしたい」「活動範囲を広げてはどうですか？」など、提案もあり、「主体性が育っているな～」と感心しました。全校で運動する毎週木曜の朝が楽しみです。

